

# 野村金先物投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型

## 運用報告書(全体版)

第12期(決算日2015年4月27日)

作成対象期間(2014年10月28日～2015年4月27日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産(商品)	
信託期間	2009年7月31日から2019年10月25日(当初、2014年10月27日)までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えたとともにブラジルリアルへの投資効果を追求することを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および野村マネーポートフォリオマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とします。外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用します。
主な投資制限	野村マネーポートフォリオマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネーポートフォリオマザーファンド	株式への投資は行いません。
	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分 配 落)	価 額			純 資 産 額
		税 分	込 配	期 騰 落 中 率	
8期(2013年4月25日)	円 15,326	円 10	% 3.6	百万円 529	
9期(2013年10月25日)	13,492	10	△11.9	301	
10期(2014年4月25日)	13,768	10	2.1	238	
11期(2014年10月27日)	12,864	10	△ 6.5	195	
12期(2015年4月27日)	11,845	10	△ 7.8	168	

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

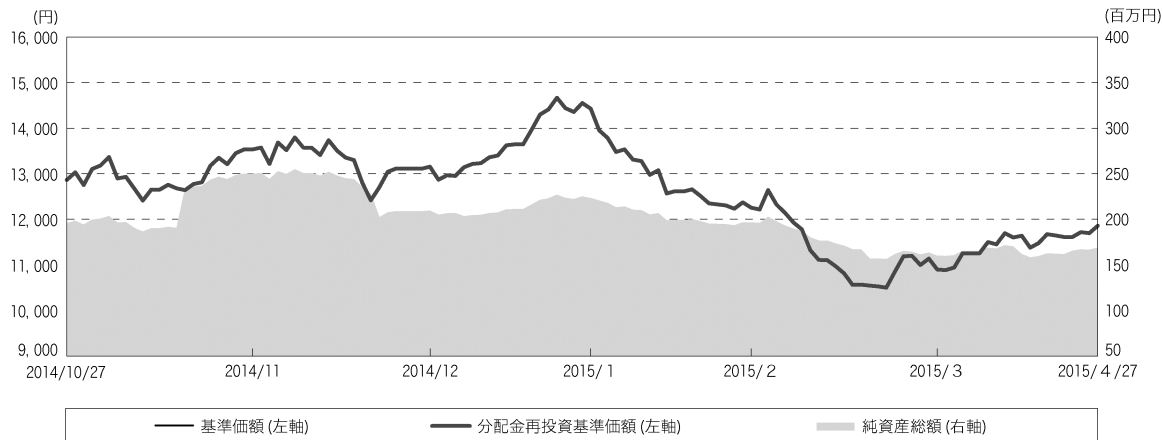
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2014年10月27日	円 12,864	% -	
10月末	13,181	2.5	
11月末	13,530	5.2	
12月末	13,153	2.2	
2015年1月末	14,426	12.1	
2月末	12,250	△ 4.8	
3月末	10,896	△15.3	
(期 末) 2015年4月27日	11,855	△ 7.8	

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首：12,864円

期 末：11,845円（既払分配金（税込み）：10円）

騰 落 率：△7.8%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年10月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等からのキャピタルゲイン(またはロス) (価格変動損益)

為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)

円/ブラジルレアルの為替変動

## ○投資環境

COMEX金先物(期近物)は、当作成期中、下落しました。当作成期首は10月末の日銀による金融緩和を受け、株式市場が世界全般で上昇して始まったことやFOMC(米連邦公開市場委員会)において、慎重な利上げ姿勢の継続が確認されたことなどを背景に米ドル高となり、金は下落しました。1月には、原油価格の下落や12月の米ISM非製造業景況感指数が市場予想を下回ったことに加え、月央にスイス国立銀行(中央銀行)がこれまでスイス・フラン高を防ぐ目的で設けていた対ユーロでの上限を廃止したことなどをを受けて安全資産である金は買われた為、大きく上昇しました。しかしその後、1月及び2月の米雇用統計が市場予想を上回る改善を示したことを受け、早期の利上げ観測が期待されたことにより、金は下落しました。当作成期首は1トロイオンスあたり1,228.50米ドルでしたが、当作成期末には1,194.40米ドルとなりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型]

[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]および[野村マネーポートフォリオ マザーファンド]受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

### [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、純資産総額の90%~110%程度の範囲に維持しました。

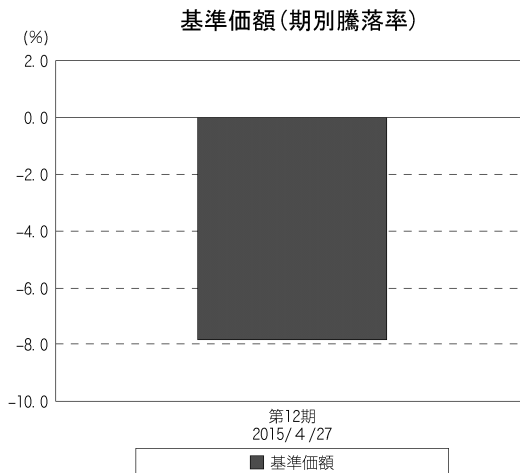
### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

残存期間の短い高格付けの公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案して決定しました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2014年10月28日～ 2015年4月27日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.084%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,076

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ◎今後の運用方針

### [野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型]

[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]および[野村マネーポートフォリオ マザーファンド]受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

### [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、原則として純資産総額の90%~110%の範囲に保つことを目指します。

### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### ※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化の動きについて

店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用する店頭デリバティブ取引(オプション、NDFおよびNDO等を含みます。)が当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月28日～2015年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	0.635	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(31)	(0.242)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(49)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	82	0.636	
期中の平均基準価額は、12,906円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年10月28日～2015年4月27日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL	10,539	76,162	11,107	75,504

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年10月28日～2015年4月27日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型&gt;

該当事項はございません。

&lt;野村マネーポートフォリオ マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
公社債	百万円 40	% 10.8	百万円 370	百万円 -	% -	百万円 10

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。



## ○組入資産の明細

(2015年4月27日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額 比 率
	口	口	千円 %
ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・ フューチャー・ファンドークラスBRL	25,871	25,303	165,253 97.9
合 計	25,871	25,303	165,253 97.9

\*比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	99	99	100

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	165,253	97.1
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	100	0.1
コール・ローン等、その他	4,791	2.8
投資信託財産総額	170,144	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月27日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	170,144,933
コール・ローン等	4,790,774
投資信託受益証券(評価額)	165,253,893
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	100,259
未収利息	7
(B) 負債	1,423,237
未払収益分配金	142,438
未払信託報酬	1,278,697
その他未払費用	2,102
(C) 純資産総額(A-B)	168,721,696
元本	142,438,977
次期繰越損益金	26,282,719
(D) 受益権総口数	142,438,977口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,845円

(注)期首元本額152百万円、期中追加設定元本額48百万円、期中一部解約元本額58百万円、計算口数当たり純資産額11,845円。

## ○損益の状況 (2014年10月28日～2015年4月27日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	8,376,409
受取配当金	8,374,693
受取利息	1,716
(B) 有価証券売買損益	△ 20,679,691
売買益	5,494,947
売買損	△ 26,174,638
(C) 信託報酬等	△ 1,280,799
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,584,081
(E) 前期繰越損益金	△ 23,775,664
(F) 追加信託差損益金	63,784,902
(配当等相当額)	( 139,217,241)
(売買損益相当額)	(△ 75,432,339)
(G) 計(D+E+F)	26,425,157
(H) 収益分配金	△ 142,438
次期繰越損益金(G+H)	26,282,719
追加信託差損益金	63,784,902
(配当等相当額)	( 139,217,248)
(売買損益相当額)	(△ 75,432,346)
分配準備積立金	32,805,936
繰越損益金	△ 70,308,119

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)分配金の計算過程(2014年10月28日～2015年4月27日)は以下の通りです。

項目	第12期
	2014年10月28日～ 2015年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,095,853円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	139,217,248円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	25,852,521円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	172,165,622円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,086円
g. 分配金	142,438円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

- ①運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ④「商品先物取引法」への記載の変更および当該変更に係る所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日:2014年12月1日>

## ○(参考情報)親投資信託の組入資産の明細

(2015年4月27日現在)

## &lt;野村マネーポートフォリオ マザーファンド&gt;

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体(193,718千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	80,000 (70,000)	80,001 (70,001)	41.0 (35.9)	— (—)	— (—)	— (—)	41.0 (35.9)
特殊債券 (除く金融債)	104,000 (104,000)	104,430 (104,430)	53.6 (53.6)	— (—)	— (—)	— (—)	53.6 (53.6)
金融債券	10,000 (10,000)	10,004 (10,004)	5.1 (5.1)	— (—)	— (—)	— (—)	5.1 (5.1)
合 計	194,000 (184,000)	194,437 (184,436)	99.7 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	99.7 (94.6)

\*( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*一印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>	%	千円	千円	
国庫短期証券 第509回	—	10,000	9,999	2015/5/7
国庫短期証券 第524回※	—	60,000	60,001	—
国庫債券 利付(2年)第328回	0.1	10,000	10,000	2015/5/15
小 計		80,000	80,001	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>				
日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第341回	1.3	4,000	4,004	2015/5/29
日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第346回	1.4	10,000	10,043	2015/8/26
首都高速道路債券 政府保証第199回	1.4	10,000	10,043	2015/8/28
首都高速道路債券 政府保証第200回	1.3	10,000	10,049	2015/9/25
阪神高速道路債券 政府保証第148回	1.3	10,000	10,052	2015/9/30
本州四国連絡橋債券 政府保証第27回	1.4	20,000	20,090	2015/8/31
公営企業債券 政府保証第859回	1.5	10,000	10,108	2016/1/25
公営企業債券 第16回財投機関債	1.49	10,000	10,018	2015/6/19
東日本高速道路 第17回	0.271	10,000	10,002	2015/6/19
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第5回	1.39	10,000	10,017	2015/6/19
小 計		104,000	104,430	
<b>金融債券</b>				
農林債券 利付第720回い号	0.65	10,000	10,004	2015/5/27
小 計		10,000	10,004	
合 計		194,000	194,437	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

\*\*印は現先で保有している債券です。

# ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドー (クラスAUD、クラスBRL、クラスZAR)

2014年8月31日決算  
(計算期間：2013年9月1日～2014年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運用方針	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とし、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともに各クラスで定められた通貨への投資効果を追求することを目的として運用を行います。
投資対象	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券 金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	インベストエック・アセット・マネジメント・リミテッド
共同投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

\*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書  
2014年8月31日に終了する計測期間  
(米ドル)

<b>費用</b>	
投資顧問および共同投資顧問報酬	156,650
事務管理代行報酬	74,584
保管費用	15,267
取引銀行報酬	2,317
受託報酬	22,382
法務報酬	2,082
海外登記手数料	34
立替費用	14,912
専門家報酬	19,291
創業費償却	4,356
雑費用	200
	<hr/>
費用合計	312,075
	<hr/>
<b>純投資損益</b>	(312,075)
	<hr/>
投資有価証券売買に係る損益	29,356
先物取引契約に係る損益	(3,977,753)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	6,065,092
	<hr/>
<b>当期実現純損益</b>	2,116,695
	<hr/>
投資有価証券評価差損益	(6,054)
先物取引契約に係る評価差損益	(7,645,741)
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	907,690
	<hr/>
<b>当期評価差損益</b>	(6,744,105)
	<hr/>
<b>運用の結果による純資産の増減額</b>	(4,939,485)

組入資産明細  
2014年8月31日現在  
(米ドル)

通貨	額面	銘柄	評価額	投資比率 (%)
<b>アメリカ</b>				
<b>短期国庫債券</b>				
USD	20,000,000	US TREAS BILL 0% 16/10/14	19,999,814	33.06
USD	9,000,000	US TREAS BILL 0% 09/10/14	8,999,969	14.88
USD	6,800,000	US TREAS BILL 0% 30/10/14	6,799,848	11.24
USD	5,000,000	US TREAS BILL 0% 20/11/14	4,999,919	8.27
USD	5,000,000	US TREAS BILL 0% 13/11/14	4,999,863	8.27
USD	4,900,000	US TREAS BILL 0% 25/09/14	4,899,934	8.10
USD	4,000,000	US TREAS BILL 0% 06/11/14	3,999,862	6.61
USD	1,000,000	US TREAS BILL 0% 28/11/14	999,924	1.65
			<hr/>	<hr/>
		アメリカ計	55,699,133	92.08
			<hr/>	<hr/>
			55,699,133	92.08
			<hr/>	<hr/>
<b>投資有価証券合計</b>			<b>55,699,133</b>	<b>92.08</b>

\* 額面は発行通貨建て表示

## 外国為替先渡し契約

2014年8月31日現在

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
AUD	13,931,039	USD	12,910,451	September 12, 2014	103,665
AUD	13,540,638	USD	12,559,890	September 19, 2014	83,295
AUD	13,989,436	USD	13,001,502	September 05, 2014	73,601
BRL	2,097,322	USD	900,000	October 02, 2014	27,110
BRL	2,764,957	USD	1,200,000	October 02, 2014	22,234
BRL	4,568,606	USD	2,000,000	October 02, 2014	19,527
BRL	5,924,209	USD	2,600,000	October 02, 2014	18,764
BRL	1,851,003	USD	800,000	October 02, 2014	18,226
AUD	13,580,807	USD	12,658,942	September 26, 2014	15,504
BRL	1,384,191	USD	600,000	October 02, 2014	11,874
BRL	1,496,452	USD	650,819	October 02, 2014	10,679
BRL	1,148,951	USD	500,000	October 02, 2014	7,888
BRL	1,146,180	USD	500,000	October 02, 2014	6,663
BRL	915,354	USD	400,000	October 02, 2014	4,627
ZAR	1,058,807	USD	97,638	September 05, 2014	1,752
ZAR	1,345,430	USD	125,621	September 19, 2014	392
ZAR	1,365,833	USD	127,816	September 12, 2014	251
BRL	37,479	USD	16,399	October 02, 2014	169
BRL	13,424	USD	5,843	October 02, 2014	91
ZAR	921,841	USD	86,153	September 26, 2014	88
BRL	17,734	USD	7,759	October 02, 2014	80
AUD	33,483	USD	31,200	September 12, 2014	79
BRL	4,613	USD	1,996	October 02, 2014	43
BRL	2,447	USD	1,053	October 02, 2014	29
AUD	2,167	USD	2,007	September 05, 2014	19
BRL	2,314	USD	1,015	October 02, 2014	7
AUD	2,095	USD	1,951	September 12, 2014	7
AUD	1,047	USD	975	September 12, 2014	3
USD	27,962	AUD	29,938	September 26, 2014	23
USD	149,382	AUD	160,054	September 26, 2014	10
USD	1,916	ZAR	20,387	September 12, 2014	5
USD	1,953	ZAR	20,786	September 12, 2014	5
USD	1,084	ZAR	11,538	September 12, 2014	3
USD	36,625	AUD	39,242	September 26, 2014	2
USD	1,956	ZAR	20,918	September 26, 2014	(1)
USD	3,002	AUD	3,222	September 12, 2014	(8)



通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
USD	2,015	AUD	2,170	September 12, 2014	(12)
USD	1,990	BRL	4,531	October 02, 2014	(13)
USD	1,015	BRL	2,336	October 02, 2014	(17)
USD	1,015	BRL	2,336	October 02, 2014	(17)
USD	2,891	BRL	6,587	October 02, 2014	(20)
USD	1,053	BRL	2,434	October 02, 2014	(23)
USD	1,053	BRL	2,434	October 02, 2014	(23)
USD	2,009	BRL	4,600	October 02, 2014	(24)
USD	2,983	AUD	3,224	September 05, 2014	(30)
USD	2,015	BRL	4,658	October 02, 2014	(44)
USD	12,773	AUD	13,715	September 05, 2014	(45)
USD	12,735	AUD	13,712	September 12, 2014	(74)
USD	16,061	BRL	36,697	October 02, 2014	(161)
USD	32,008	BRL	72,989	October 02, 2014	(256)
USD	166,587	AUD	178,622	September 05, 2014	(360)
USD	112,027	AUD	120,469	September 12, 2014	(513)
USD	59,553	BRL	136,068	October 02, 2014	(595)
USD	65,552	AUD	70,833	September 05, 2014	(651)
USD	170,677	AUD	183,900	September 05, 2014	(1,203)
USD	269,581	AUD	289,897	September 12, 2014	(1,234)
USD	59,688	BRL	138,216	October 02, 2014	(1,409)
USD	111,332	BRL	256,534	October 02, 2014	(2,068)
					417,914

先物取引契約

2014年8月31日現在

通貨	契約数	銘柄	満期	市場価格(米ドル)	未実現損益(米ドル)
<b>買建</b>					
USD	468	FUT GOLD 100 OZ	December 2014	60,390,720	(576,281)
				60,390,720	(576,281)
				(576,281)	

# 野村マネーポートフォリオ マザーファンド

第6期(2014年7月11日決算)  
(計算期間：2013年7月12日～2014年7月11日)

## 《運用報告書》

受益者のみなさまへ

野村マネーポートフォリオ マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

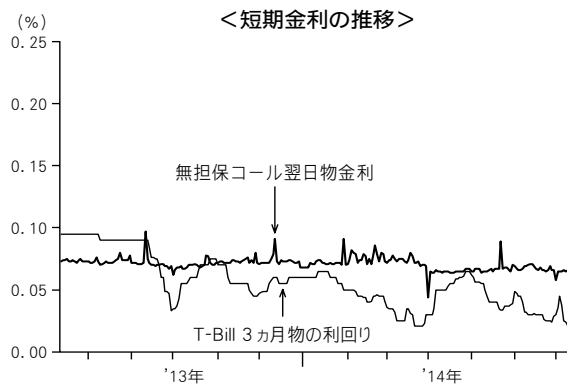
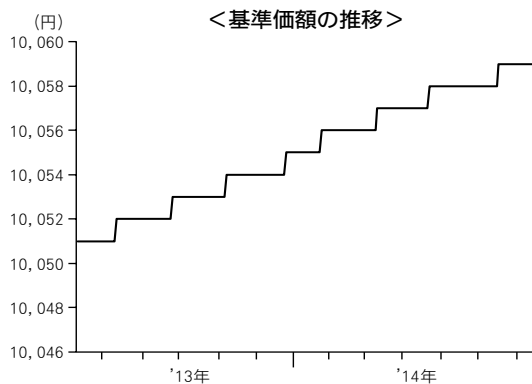
東京都中央区日本橋1-12-1  
<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ◎運用経過

### 1. 基準価額の推移

#### \* 基準価額は0.08%の上昇

基準価額は、期初10,051円から期末は10,059円となりました。



## ○運用環境

国内経済は、2014年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響を受けつつも、期を通じて底堅く推移した個人消費や、企業収益の改善に伴い回復の兆しがみられた設備投資などの内需が下支えとなる一方、先進国を中心とした海外経済の持ち直しの中で輸出は横ばいで推移しました。このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続しました。

### ●無担保コール翌日物金利の推移

概ね0.06%台～0.07%台で推移しました。

### ●T-Bill(国庫短期証券)3ヵ月物の利回りの推移

- ・ 期初から2013年9月までは概ね0.09%台で推移しました。
- ・ 2013年9月末に需給のひっ迫により0.03%台まで低下しましたが、その後利回りは上昇し、2013年10月から2014年2月にかけて概ね0.05%台～0.07%台で推移しました。
- ・ 3月末にかけて需給が引き締まったことで0.02%台まで低下し、その後一旦は0.06%台まで上昇しましたが、期末にかけて0.01%台まで低下しました。

## 2. ポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、国債を中心に政府保証債や利付金融債によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ◎今後の運用方針

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ◎期中の売買及び取引の状況(自 2013年7月12日 至 2014年7月11日)

## ●公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
国債証券		20,607,363	19,085,878 (1,821,450)
特殊債券		102,442	— (50,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ◎組入資産の明細

## ●国内(邦貨建)公社債

区分	期首					当期末							
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
			5年以上	2年以上	2年未満					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	% (94.4)	% (-)	% (-)	% (-)	% (94.4)	千円 (20,000)	千円 (20,000)	% (9.7)	% (-)	% (-)	% (-)	% (9.7)	
特殊債券(除く金融債)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	42,000 (42,000)	42,217 (42,217)	20.4 (20.4)	- (-)	- (-)	- (-)	20.4 (20.4)	
金融債券	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	10,000 (10,000)	10,011 (10,011)	4.8 (4.8)	- (-)	- (-)	- (-)	4.8 (4.8)	
合計	99.5 (94.4)	- (-)	- (-)	- (-)	99.5 (94.4)	142,000 (72,000)	142,236 (72,228)	68.6 (34.9)	- (-)	- (-)	- (-)	68.6 (34.9)	

\*( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*一印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## 国内(邦貨建)公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	国庫短期証券 第381回	%	千円 10,000	千円 9,999	2014/7/22
	国庫債券 利付(2年)第318回	0.1	10,000	10,000	2014/7/15
	国庫債券 利付(2年)第319回	0.1	10,000	10,000	2014/8/15
	国庫債券 利付(2年)第320回	0.1	10,000	10,000	2014/9/15
	国庫債券 利付(2年)第321回	0.1	20,000	20,002	2014/10/15
	国庫債券 利付(2年)第322回	0.1	20,000	20,001	2014/11/15
	国庫債券 利付(2年)第323回	0.1	10,000	10,001	2014/12/15
小 計		—	—	90,008	—
特殊債券(除く金融債)	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第336回	1.4	2,000	2,014	2015/1/28
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第337回	1.3	5,000	5,037	2015/2/27
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第338回	1.5	2,000	2,019	2015/3/27
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第341回	1.3	4,000	4,042	2015/5/29
	首都高速道路債券 政府保証第191回	1.8	2,000	2,001	2014/7/29
	首都高速道路債券 政府保証第195回	1.4	9,000	9,063	2015/1/26
	阪神高速道路債券 政府保証第141回	1.5	2,000	2,010	2014/11/28
	本州四国連絡橋債券 政府保証第24回	1.8	3,000	3,006	2014/8/29
	公営企業債券 政府保証第841回	1.8	10,000	10,006	2014/7/25
公営企業債券 政府保証第844回	1.6	3,000	3,013	2014/10/28	
小 計		—	—	42,217	—
金 融 債 券	しんきん中金債券 利付第237回	1.0	10,000	10,011	2014/8/27
小 計		—	—	10,011	—
合 計		—	—	142,236	—

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

(2014年7月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	142,236	65.5
コール・ローン等、その他	75,040	34.5
投資信託財産総額	217,276	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月11日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	217,276,132
コール・ローン等	74,798,694
公社債(評価額)	142,236,588
未収利息	129,585
前払費用	111,265
(B) 負 債	10,049,800
未払金	9,999,800
未払解約金	50,000
(C) 純資産総額(A - B)	207,226,332
元 本	206,006,679
次期繰越損益金	1,219,653
(D) 受益権総口数	206,006,679口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,059円

## ◎損益の状況

(自 2013年7月12日 至 2014年7月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	511,310
受 取 利 息	511,310
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 272,298
売 買 益	3,821
売 買 損	△ 276,119
(C) 当 期 損 益 金 ( A + B )	239,012
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,979,227
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	600,311
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,598,897
(G) 計 ( C + D + E + F )	1,219,653
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	1,219,653

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注)期首元本額389百万円、期中追加設定元本額109百万円、期中一部解約元本額293百万円、計算口数当たり純資産額10,059円。

## ◎当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	百万円
野村インド株投資 マネープール・ファンド	62
野村原油先物投信（マネープールファンド）年2回決算型	6
野村金先物投信（マネープールファンド）年2回決算型	84
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（マネープールファンド）年2回決算型	10
野村南アフリカ資源関連株投信 マネープール・ファンド	0
野村原油先物投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村原油先物投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村原油先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ニュージーランドドルコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	1
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ニュージーランドドルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型	0
財形給付金ファンド	31
野村セレクト・オポチュニティ・ファンドP ハイブリッド型（適格機関投資家専用）	0

\*単位未満は切り捨て。

「野村金先物投信(通貨選択型)」「マネープールファンド(年2回決算型)を除く」の  
お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日(以下「申込不可日」といいます。)があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2015年4月27日現在)

年 月	日
2015年4月	30
5月	1、13、14、22、25
6月	22、23
7月	2、3
8月	28、31
9月	4、7
10月	—
11月	10、11、25、26
12月	22、24、25、28

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ(<http://www.nomura-am.co.jp/>)にも掲載いたしております。